

# ケンサEXPO'09

## 臨床検査技師が集まって 今一般市民向けに何ができるだろう？

そこから「ケンサ EXPO '09」が企画されました。臨床検査技師や医療関係者と患者・家族が一体となって病気と闘うチーム医療のあり方や、日頃の生活の中で、臨床検査を通じて自らの健康を如何に守っていくかについて、社会全体で考える機会とする。

広く一般人に、自分や家族、愛する人のからだを守るために、もっと身近に、もっと積極的に“ケンサ”を取り込みましょう！と呼びかける。実際に検査を体験し、病気にならないための検査活用法などを、楽しく学べる場とすることを目的としています。

更に、大人だけでなく、これからの臨床検査を担う子供たちに楽しみながら身近に知ってもらうことも大切な目的です。



第 58 回の日本医学検査学会の学術展示とは別に約 3,000 m<sup>2</sup>のエリアを確保し 7 月 30 日～8 月 2 日までの 4 日間開催されます。実施内容は企画展示・公開展示・臨床検査体験コーナーに分けて行われます。特に体験エリアではメタボ関連ケンサや希望者の HIV 検査・心電図、体脂肪、動脈硬化等の測定等が行われます。これらは神奈川県技師会が企画しましたが、関甲信地区技師会並びに日臨技の公益共催事業として執り行えることは心強い限りです。

また、厚生労働省・経済産業省や日本医師会・日本看護協会等々多くの行政機関・各医療系団体・民間企業およびメディアの後援を頂き臨床検査と一般市民との関わりをより一層深め、このような事業を更に発展させることが改めて重要と実感しています。

真夏の横浜は開港 150 周年を祝うイベントが盛り沢山あり、文化的名所や水族館等の施設も数多く存在します。また、近代日本の食文化においても、ここ横浜から発進したビールやアイスクリームなど「おもしろ発見」があります。

当然、学会に参加された方も学術展示の隣のエリアで実施している「ケンサ EXPO '09」に自由に参加できますので、夏休みを利用し家族連れで来て頂きたいと思っております。そしてもう一つお願いですが、臨床検査技師である皆様に参加されて感じたご意見を今後の開催に役立てるべく、是非ともお聞かせ願いたいと思っております。

【記 第 58 回日本医学検査学会会長 米坂知昭】

## ◆ 日臨技共催・・・公益事業 ◆

日臨技が都道府県技師会の企画により共催している公益事業を紹介します！

### 「米村でんじろうサイエンスショー」をメインテーマに・・・ 臨床検査健康フェア

本事業は「公益法人へ向けての事業」を意識して企画したが、当会の僅かな留保金のみでは不可能な事から日臨技と共催とする事で内容を充実させた。今回の事業はテレビ等で話題の「米村でんじろうサイエンスショー」をメインとし「検査体験コーナー」、「各種検査パネル展示」などを同時に開催する。

サイエンスショーについては、我々の日常業務が化学や物理を駆使することを業としている事から、臨床検査技師がサイエンスの面白さを主催し紹介するには適任ではとの発案から企画した。また本ショーの前座で日臨技作成の DVD を活用し臨床検査技師と云う職種については勿論、技師会の広報活動を行い、技師の医療界における役割等についても紹介をする。

併せて開催する臨床検査健康体験コーナーについては参加者には身体測定、血液検査(特定検診項目を中心に)頸部血管超音波検査、肺活量検査(肺年齢推定)、骨密度検査、血管年齢検査、健康相談コーナー、顕微鏡コーナー、手洗い確認コーナーなどの各種体験コーナーに参加し、身体測定や各種臨床検査を受けて頂き、自身の健康状態の確認と、健康診断の重要性の啓発を行うとともに、各種体験コーナーやパネル展示などにより疾患、医療に対する理解を深めて頂きたい。また本事業には県内の各分野の臨床検査技師は勿論、後援を頂いた医師、看護師の参加協力を得てアドバイスなども行う予定である。

当日使用する検査機器等はプロモーションコードに抵触しないよう配慮しつつ賛助会員の協力を得ることが出来、有料分も含め深く感謝している。パネル展については各研究班主導とし、現在その企画、提案を呼びかけている。

今回、来場の児童、父兄はじめ市民に対し、科学への興味と理解を深め、更に臨床検査技師の存在をアピールするために開催するが、県、市、教育委員会、医師会、看護協会等の後援のもと、広く市民への広報を行い、多くの親子同伴の参加を期待しているが、今回は、**長崎県内の児童養護施設の子供たち約 400 名を招待**(送迎バス、昼食含)する事にしている。

本事業の効果としては、

- ◇ 好奇心旺盛な、児童たちにサイエンスショーを通し、科学への好奇心、興味を高めるとともに、招待する児童福祉施設の子供たちには貴重な経験すると共に楽しんでもらいたい。
- ◇ 臨床検査の体験により一般市民へ健康管理への意識付けを行うとともに、臨床検査の重要性を理解して頂きたい。
- ◇ 公益事業として最も重要な事は市民参加型の企画の中で臨床検査技師という職種・仕事、並びに臨床検査技師会の活動について多くの市民に広報、アピールできる事一を最大の目標としている。

【記 長崎県臨床検査技師会会長 今村文章】